第四紀研究 第48巻

目 次

第1号(2月)

論 説

藤原 治・鎌滝孝信・内田淳一・阿部恒平・原口 強: 房総半島南東岸の完新 世前期の溺れ谷堆積物にみられる地震隆起の痕跡と津波堆積物
短 報
道塚涼介・竹内 章:岐阜県飛騨市神岡町佐古における断層露頭と跡津川断層 東部の最新活動
国際第四紀学連合第 17 回大会(International Union for Quaternary Research, XVII International Congress, July 28 to August 3, 2007, Cairns Convention Center, Queensland, Australia)報告
書 評

第2号(4月)

論説

松島紘子・	須貝俊彦	・水野清秀・	八戸昭一:	: 関東平野内陸部,	吹上~行田地址	或	
における	の中・上部]	更新統の地一	下層序と堆積	積環境変化	•••••		$\cdots 59$

特集 2007 年度日本第四紀学会シンポジウム「考古遺跡から何がわかるか?:Geoarchaeology」

open-air site of Kamihoronai-Moi, Hokkaido (Japan)	
Nakazawa, Y., Izuho, M. and Akai, F. : Between the two hearths: Site formation processes and spatial organization at the Upper Paleolithic	
佐藤宏之:地考古学が日本考古学に果たす役割	77
佐藤宏之・出穂雅実:考古遺跡から遺跡方何がわかるか?:Geoarchaeology	75

第3号(6月)

「第四紀後期の気候変動と地球システムの挙動ーその原因とメカニズムの解明に向けてー」特集号

口絵	本山秀明:南極ドームふじ基地における氷床コア掘削	i
	中川 毅・奥田昌明・米延仁志・三好教夫・竹村恵二 : 琵琶湖の堆積物 用いたモンスーン変動の復元-ミランコビッチ=クズハッハ仮説の矛盾	
とす	友服 ─ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ii
	英樹:第四紀後期の気候変動と地球システムの挙動-その原因とメカニズ の解明に向けて-	03
20		00

川村賢二:氷床コアから探る第四紀後期の地球システム変動10	9
大河内直彦:化合物レベル放射性炭素年代法の原理と南極縁辺海堆積物への応 用	1
吉森正和・阿部彩子:気候感度の制約において第四紀研究の果たす役割と可能 性について	3
川幡穂高:風送塵の地球環境に与える影響-氷期・間氷期, 完新世, 現代-16	3
原田尚美・木元克典・岡崎裕典・長島佳菜・Axel Timmermann・安部彩子: 北西部北太平洋海底堆積物に記録された表層および中・深層循環の1000年	0
スケール変動	9
山本正伸・五十嵐八枝子・大場忠道:北太平洋亜熱帯循環の氷期・間氷期変動 -熱帯大気海洋相互作用および東アジア夏季モンスーンとの関連	5
中川 毅・奥田昌明・米延仁志・三好教夫・竹村恵二:琵琶湖の堆積物を用い たモンスーン変動の復元 ーミランコビッチ=クズハッハ仮説の矛盾と克 服	7
総合討論 第四紀後期の気候変動と地球システムの挙動-その原因とメカニ ズムの解明に向けて	
書 評 ······24	1

第4号(8月)

論説

近藤玲介・塚本すみ子:北海道北部、利尻火山西部における OSL 年代測定に よる古期火山麓扇状地の形成年代	··243
谷川晃一郎:兵庫県円山川下流域における沖積層の層序・堆積環境と完新世の 相対的海水準変動	··255
森脇 広・永迫俊郎・新井房夫:トカラ列島における後期更新世以降のテフラ	$\cdot \cdot 271$
短 報	
渥美 晋・米田 穣・柴田康行・保倉明子・中井 泉:放射性炭素年代測定に おける炭化物試料の酸-塩基-酸前処理法に対する化学的検証	··289
下岡順直・長友恒人・小畑直也:熱ルミネッセンス法による御岳第一テフラ (On-Pm1) 噴出年代の推定	··295
書 評	0.01

第5号(10月)

論説

Nomura, R., Kawano, S. and Yajima, H. : Brackish water thecamoebians as	
an indicator of sea-level changes in Lake Koyama-ike, Tottori Prefecture,	
southwest Japan, over the last 60 years	305
Nomura, R. and Roser, B.P. : Foraminiferal responses to flood events,	
human activities and sea-level changes in brackish Lake Jinzai,	
Shimane Prefecture, southwest Japan, in the last 60 years	321

丹羽雄一・須貝俊彦・大上隆史・田力正好・安江健一・齋藤龍郎・藤原 治:
濃尾平野西部の上部完新統に残された養老断層系の活動による沈降イベン
ኑ ····································
北川陽一郎・吉川周作・高原 光 : 夢洲沖コアの花粉分析に基づく大阪湾集水
域における完新世の植生変遷
書 評

第6号(12月)

2008 年度日本第四紀学会学会賞受賞記念論文

大場忠道:海底コア中の有孔虫化石の酸素・炭素同位対比を駆使した第四紀古 海洋環境に関する一連の研究	·367
論。說	
川村教一:愛媛県松山平野における更新統及び完新統の層序と火山灰の対比	·379
小林真生子・百原 新・岡崎浩子・岡本東三・柳澤清一:タブノキの生殖器官 化石に基づく前期完新世のイベント堆積物の季節推定	·395
桑原拓一郎:青森県上北平野で掘削された中期更新世後半以降のテフラー土壌 累積層の植物珪酸体群集に基づく環境変遷と段丘との対比	·405
吉田明弘・竹内貞子:最終氷期末期以降の秋田県八郎潟周辺の植生変遷と東北 地方北部における時空間的な植生分布	·417
· 書 評······	$\cdot 427$